

正確に伝えるためのメディカル英文ライティング

～日本人が陥りやすい英文作成における誤用～

趣旨

日本人の書いた英文は日本人にとって理解しやすいということが言われている。その理由は、英語と日本語の成り立ちの差、考え方の差に由来することが多い。この点を踏まえ、講演者は長年にわたる外資系製薬企業における数多くの英文報告書作成、論文投稿、メディカルライティングの経験から、特に医薬品に関する英文を書く際に私達日本人が注意すべき点、習得すべき点を説明する。

日時 2014年12月10日(水) 12:30～16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 タイム24ビル4F セミナールーム (東京都江東区青海2-4-32)

定員: 30名

受講料 49,980円 *資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(学校関係者価格は、企業に在籍されている研究員の方には適用されません。)

講師

タテヤマコンサルティング・インク 合名会社 社長室 代表社員 理学博士 立石 満 氏

【ご略歴】

医薬品治験総括報告書、論文等の作成 英⇔和 業務歴40年。

薬物動態、生化学、有機および無機化学薬物動態のコンサルティング。グレラン製薬(株)、日本ロシュ(株)、

アズブヨ(株)、相模工業(株)を経て、2011年8月タテヤマコンサルティング(株)を設立

このセミナーの 申込受付は終了しました

1. 英語と日本語の違い

- 1.1. 名詞:単数複数の区別がない
- 1.2. 冠詞がない
- 1.3. 現在完了形がない
- 1.4. 接頭語の多用
- 1.5. あいまいな表現が多い
- 1.6. 医薬品関連報告書でも主語が必ずしも表示されない。
「は」による主題提示型の文章。隠れた主語
- 1.7. 時制がない
- 1.8. 医薬品を含め研究者出身の英文には受動態が多い

2. 求心的

3. 自動詞と他動詞
4. 名詞の動詞化
5. さまざまな構文の誤り

【質疑応答・名刺交換】

『メディカル英文ライティング』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号	FAX		
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 <small>・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。</small>			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238** までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。